

平成22年度第2回原村振興計画審議会 会議録

- 1 開催日時 平成23年1月28日（金）午後1時30分から午後4時30分
- 2 場 所 原村役場204会議室
- 3 出席者 委員11名（欠席者：小平雅彦委員）
教育課長、村づくり戦略推進室長、企画係伊藤・小林

4 審議内容

(1) 開 会 池律子副会長

(2) あいさつ 木下貞彦会長

(3) 協議事項

①第4次原村総合計画後期基本計画（案）の第2節の審議

事務局伊藤 本日の進め方について説明～各項を担当課長より説明し、審議は策定シート毎に行う。

菊池課長 資料4第2節第1項に基づき説明。

木下厚委員 計画（案）の予算措置についてはどのようになっているか。予算額が示されていないと、費用対効果について踏み込んだ論議ができない。

菊池課長 事業の大半が前期からの継続であり、新たな予算措置は少ない。

細川室長 第4次原村総合計画2頁のとおり、後期基本計画に基づいて実施計画を策定し、それに基づき予算編成するため、予算額をあらかじめ示してはいいない。

<各委員に実施計画（平成23～24年度）抜粋を配布>

木下厚委員 各節の予算の長期見通しは必要なのではないか。

小池啓男委員 予算は単年度で編成するのが建て前であり、今後5年間の予算を示すことは難しいと思われる。

木下厚委員 それはわかるが、ある程度予算についても組みこんでいかないと、予算の都合で事業実施できないということが発生する。

小池啓男委員 実施計画では3年間分の予算の見通しは示されるが、計画は今後5年間どのような仕事をしていくか方向性を示しているなので、その内容を審議していけば良いのではないかと思う。

五味勇吉委員 まず計画を策定し、予算は計画に基づいて編成していくという考えで良いのではないか。

木下貞彦会長 ローリング方式で実施していくこともあり、計画を予算の指針として考えるということでしょうか。

小池啓男委員 現在どのような予算で実施しているのかは、示した方が良い。

細川室長 予算説明書について、従来は予算科目毎の構成だったが、平成23年度からは総合計画の体系に基づいた構成にしたいと思っている。

木下厚委員 それならば良いと思われる。

五味光亮委員 原村が特徴的に取り組むことや力を入れるところを明示できないか。例えば、茅野市では青少年の関係は中高生を中心に検討し何億円もの費用で「CHUKOら

んどチノチノ」を整備し非常に良くなった経過があり、英断だと思っている。

木下貞彦会長 第2節の重点や特徴はどのようなものか。

菊池課長 策定シートに重点施策と記載している部分が重点である。

五味光亮委員 周辺市町は高校があるが、原村には高校がないためその年代に対する計画や施策が不足しているのかも知れない。

木下貞彦会長 2-1-1で2グループが公民館講座から自主事業に移行したとあるが、どのような講座によってどのような団体が発足したか。

鎌倉光彌委員 第2節に限らず施策に補助金の交付が出てくるが、その現状も知りたい。

木下貞彦会長 今わからないようであれば、後ほど示して欲しい。また、課長が細部にわたって説明することが難しければ、記入者が説明してもよい。

小倉佳美委員 策定シート2-1-4施策目標に「現状2団体」とあるが、これは平成21年度に2団体増えたことを示すのか。

事務局伊藤 平成21年度末に2団体が存在し、平成27年度までに5団体増やし7団体とすることを目標としていることを示している。

五味勇吉委員 (2-1-2) 図書館に待ち合い所をつくり、子どもが学校帰りに寄り親の迎えを待てるようにしてはどうか。

(2-1-3) 人材バンクについて、小学校4年生が絵写真と名前を載せた人材一覧表をつくっている。

(2-1-5) 家庭教育の啓発とあるが、家庭内のあいさつを推進して欲しい。

(2-1-6) 子育て塾に力を入れて欲しい。地域で子どもを育てる体制づくりを進めるべき。高齢者と子どもが触れ合う「穴ぐら塾」などを。茅野市では補助金を出さらない。以前に菖蒲沢区でも実施した経過がある。「史跡めぐりウォークラリー」を開催し、子どもたちが郷土史跡を歩く機会を。アサヒビールやキンビールなどの財団の助成もあるので、調べて活用を。

木下厚委員 行政が住民サービスとして行うことと、地域に任せるべきことを切り離して考えるべきだと思う。

小池啓男委員 審議して計画に入れるべきものは取り入れるべき。

(2-1-2) どのような視点で図書館の新規利用者を獲得するかということになるが、高齢者や視力低下者のための朗読CDの取り組みも入れて欲しい。

池律子副会長 図書館の待ち合い所について、私の子どもは学習目的に利用したいのいうるさくて富士見町の施設を利用したという残念な経験があることから、図書館に待合所を併設することはよくないと思う。

五味勇吉委員 現在、中学生が放課後にAコープ原村店近辺に集まっている現状がある。徒歩で帰宅するのが建て前だが、現状は迎えに来ることも多い。

鎌倉光彌委員 確かにそのような現状があるが、学童クラブや放課後子ども広場があるので、そちらを利用して欲しい。

五味勇吉委員 それらは中学生を対象としていないのでAコープ原村店に集まる。買い食いも見られるため、居場所が必要ではないか。

木下貞彦会長 図書館に待ち合い所をつくっても騒ぐだけだし、静かにするようにしたら来なくなるだけではないか。

長谷川寛委員 児童館が本来の機能ではあるが村にはないので子どもの放課後の居場所を

模索する必要があるが、図書館を待ち合い所に限定する必要はない。

伊藤幸徳委員 富士見町のコミュニティプラザのロビーも待ち合わせ等に使われているが、職員が常駐しているため安全だし、極端に迷惑な行為も起こさないようだ。「待ち合い所」のように限定するのは、かえって制限をつくることになるのではないか。使いたい人が使えば良い。要は使う人がモラルを守れば良い。

五味光亮委員 誰でも使える施設とした方が良い。

小池啓男委員 現実に子どもが集まるので、それを排除することは好ましくない。子どもの居場所については放課後対策のところを考えれば良い。基本的な方向性は計画に記載されているとおりで良いのではないか。

木下貞彦会長 では、文面は案のとおりで修正しないこととしたい。小池委員の意見の「朗読CD」については、文面に追加した方が良いか。

小池啓男委員 計画に文言を追加する必要はないが、取り組みを検討して欲しい。

木下厚委員 児童書の充実を特色にするようだが、郷土資料の充実を図るなど、特色のある図書館づくりを検討して欲しい。

木下貞彦会長 後期基本計画（案）を修正し成案とするための審議なので、そのあたりを具体的に意見していただきたい。

長谷川寛委員 具体的にというと、一字一句を審議会で検討するのか。それとも行政に関する意見を出せば事務局がまとめてくれるのか。もう一度進め方を確認したい。

小池啓男委員 後期基本計画（案）に追加・削除・変更したい内容について意見を述べ、それ以外は参考意見としたいが、いかがか。例えば、私は原村の郷土資料は充実していると思うが、木下厚委員の「郷土資料の充実を」という意見も参考意見とすることかどうか。

長谷川寛委員 後期基本計画の具体的な施策の追加・削除・変更を中心に検討すれば良いかと思うが、それで良いか。気持ちや要望はあっても、計画としては案の内容で良いと思う。

事務局伊藤 今回の計画は「わかりやすい計画」をめざし長文化を避けている。審議会として追加したい内容があるようであれば箇条書き表記で追加する。

小池啓男委員 2-1-2 具体的な施策②について、貸出、高齢者、障がい者、児童、レファレンスサービスを同列に列記するのは文章上おかしいので修正を。

木下貞彦会長 「朗読CD」は追加しなくて良いか。

池律子副会長 整理する過程の中で「朗読CD」も具体的に示すため、②に入れた方が良い。

木下貞彦会長 他になければ、第2節第2項に移りたい。

菊池課長 資料4第2節第2項に基づき説明

小池啓男委員 2-2-4 具体的な施策⑤について、幼・保連携はこれまで実施していることか。

菊池課長 幼・保・小・中は「原村教育研究会」として合同研修や情報交換を行っているが、幼・保のみでの連携はこれまでのところ行っていない。

小池啓男委員 厚生労働省の方針では保育所が公的責任から契約に移行するとのことであり、そのような中での幼・保連携は幼・保一体につながる可能性があるため、慎重に取り組んで欲しい。

また、こころの問題が深刻化しており、スクールカウンセラーが重要な役割を果たしていると思うが、後期基本計画に反映されているか。

事務局伊藤 スクールカウンセラーについては、3-4-1 具体的な施策③に記載している。

五味光亮委員 2-2-1 について、中学校周辺の草木が放置されている部分があるため、学校周辺の環境整備が必要。放置は良くない。

長谷川寛委員 2-2-1 具体的な施策②について、中学校プール全面改修とあるが、プールの要否から討論すべきではないか。

小池啓男委員 プールの改修については中学生議会でも要望が出ているので取り組む必要はあるが、中学生のモラルも必要。

長谷川寛委員 必要最小限の改修でも良いのではないか。

菊池課長 資料4第2節第3項に基づき説明

小池啓男委員 2-3-2 について、阿久収蔵庫は当初トイレや水飲み場の整備を予定していたはず。整備するように記載して欲しい。

また、2-3-3 具体的な施策②について、道標の資料は貴重なので公民館報等で広報するように修正を。

五味光亮委員 菖蒲沢区では、歴史研究会が石造文化財を完璧に調べ上げて本にしている。2-3-3 具体的な施策③について、古い発動機や消防資機材が貴重になっている。引き取って保存しないのか。

菊池課長 収蔵スペースが限られているが、状態が良ければ引き取り保存している。

五味光亮委員 2-3-3 具体的な施策③に農耕器具や消防機器等を追記してはどうか。

木下厚委員 2-3-2 について、遺跡への案内板、トイレ・水飲み場などの環境整備を充実して欲しい。また、パンフレットを置き、できるだけ現地を見てもらう工夫も必要。国や県に働きかけて観光スポットとして欲しい。

木下貞彦会長 重要なことなので、計画に加えることとして良いか。

(反対意見なし)

鎌倉光彌委員 周辺に井戸尻遺跡や尖石遺跡といった縄文時代の遺跡があるので、北杜市まで含め連携し「八ヶ岳縄文ベルト」のようなエリアとしてのPRを追記したい。

五味勇吉委員 縄文時代の様子を記載した看板、レプリカや写真の展示なども行いたい。

小池啓男委員 収蔵庫の隣に文化財系の事務所を移せば常時公開が可能となる。また、収蔵庫の公開は申し込みに応じるだけでなく、文化の日など期日を決めて実施して欲しい。

木下貞彦会長 小池委員、木下委員、五味委員の意見をまとめたものを、2-3-2 具体的な施策④として追加することとしたい。

菊池課長・事務局伊藤 資料4第2節第4項に基づき説明

小池啓男委員 2-4-2 具体的な施策④について、「住民で管理するための仕組みづくり」というのは指定管理の意味を含むのか。

事務局伊藤 指定管理も含んでいる。

小池啓男委員 「指定管理でやっていく」というニュアンスは避けた方が好ましいと思うので、「住民参加による管理の仕組みづくりを始めます」のように修正してはどうか。また、深山公園の利用方法（誰でも自由に遊ぶことができるが、利用する場合には中新田区に申し込む）について広報し、利用の促進につなげるようにしてはどうか。

事務局伊藤 検討する。

菊池課長 資料4第2節第5項に基づき説明

木下厚委員 2-5-1について、「検討します」の文言が多いが、極力「推進します」等の文言を用いて積極的に取り組んで欲しい。

小池啓男委員 交流先を検討する際は、自治体の規模にかかわらず対等な立場で交流できるところを検討すべき。群馬県の川場村は世田谷区と交流しているが、双方にメリットがある。

長谷川寛委員 具体的な施策②は都市部との連携を記載してはどうか。規模は違うが、都市部と田舎との縁組み協定が成功している例がある。「都市部との」と明記すべきか「幅広い地域との交流を検討」とすべきか、検討し修正して欲しい。

五味勇吉委員 都市部との交流は、婚活事業にも大きな利点がある。

伊藤幸徳委員 スポーツや文化などを含めて幅広いメニューで交流できる方が良い。

菊池課長 資料4第2節第6項に基づき説明

長谷川寛委員 2-6-1について、役場職員の課長や係長で女性はどれくらいか。

事務局伊藤 女性課長はいない。係長は3名。

小倉佳美委員 女団連の団体数は減少しており、現在4団体。女団連に対してどのような活動支援をしていくのか記載して欲しい。

池律子副会長 女団連があるのに男団連はないことが、かえって違和感を感じている。男女共同参画において男性の教育や参画も必要なのではないか。

伊藤幸徳委員 農業委員会に女性委員が誕生したことにより、女性委員はいろいろな所に参加しなければならず、その活動が主になってしまった例がある。

長谷川寛委員 本当の意味での参画になっていない。村の計画の都合になってしまっている。

五味光亮委員 しかし必要なことだと思うので、案のとおりが良いのではないか。

木下貞彦会長 第3節は、第3回に審議することとする。

②その他

五味勇吉委員 先述のとおり、財団資金の活用や、その指導を行って欲しい。

事務局伊藤 これまでも財団の助成金を活用している例もある。情報の収集や提供に努めたいと思う。

小林庄三郎委員 前期からの経過を踏まえて後期の具体的な施策を説明して欲しい。

木下貞彦会長 計画の話に戻るが2-3-1について、指定管理について「全面委託」と記載すると誤解を招くので修正を。

(4) 閉会 木下貞彦会長

第4次原村総合計画後期基本計画(案) 第2節修正箇所一覧表

節・項	意見	修正内容
2-1-2	○貸出、高齢者、障がい者、児童、レファレンスサービスを同列に列記するのは文章上おかしいので修正を。	具体的な施策②の文章を修正
2-2-1	○中学校プール全面改修とあるが、プールの要否から討論すべきではないか。	具体的な施策②の内容を検討・修正
	○中学校周辺の草木が放置されている部分があるため、学校周辺の環境整備が必要。放置は良くない。	具体的な施策⑤として追加
2-2-4	○幼・保連携は幼・保一体につながる可能性があるため、慎重に取り組んで欲しい。	具体的な施策⑤の内容を再検討し、削除または修正
2-3-1	○指定管理について「全面委託」と記載すると誤解を招くので修正を。	前期基本計画内の成果及び変動要因の文章を修正
2-3-2	○収蔵庫の公開は申し込みに応じるだけでなく、文化の日など期日を決めて実施して欲しい。	具体的な施策①の内容を検討
	○阿久収蔵庫は当初トイレや水飲み場の整備を予定していたはず。整備するように記載して欲しい。	具体的な施策に追加
	○遺跡への案内板、トイレ・水飲み場などの環境整備を充実して欲しい。また、パンフレットを置き、できるだけ現地を見てもらう工夫も必要。	
○周辺に井戸尻遺跡や尖石遺跡といった縄文時代の遺跡があるので、④として八ヶ岳観光圏や茅野市、関係施設と連携して「八ヶ岳縄文ベルト地帯」を全国に発信することを追加して欲しい。		
2-3-3	○道標の資料は貴重なので公民館報等で広報するように修正を。	具体的な施策②の内容に追加
	○古い発動機や消防機器等が貴重になっているが廃棄されているので、農耕器具や消防機器等の保存を追加してはどうか。	具体的な施策③の内容に追加
2-4-2	○「指定管理でやっていく」というニュアンスは避けた方が好ましいと思うので、「住民参加による管理の仕組みづくりを始めます」のように修正してはどうか。	具体的な施策③を「住民参加による管理の仕組みづくりを始めます」に修正
2-5-1	○「検討します」の文言が多いが、極力「推進します」等の文言を用いて積極的に取り組んで欲しい。	基本方針、具体的な施策の文章を検討・修正
	○都市部との連携を記載してはどうか。規模は違うが、都市部と田舎との縁組み協定が成功している例がある。「都市部との」と明記すべきか「幅広い地域との交流を検討」とすべきか、検討し修正して欲しい。	具体的な施策②の内容を検討・修正

第2回原村振興計画審議会 第2節に対する参考意見

項目	参考意見
青少年 (2-1-6)	○周辺市町は高校があるが、原村には高校がないためその年代に対する計画や施策が不足している。
図書館・待ち合 い所 (2-1-2)	○待ち合い所をつくり、子どもが学校帰りに寄り親の迎えを待てるようにしてはどうか。 ○自分の子どもは学習目的に利用したいのにうるさくて勉強にならず、富士見町の図書館に行っ て勉強していた。 ○学童クラブや放課後子ども広場は中学生を対象としていないのでAコープ原村店に集ま る。買い食いも見られるため、居場所が必要ではないか。 ○「待ち合い所」のように限定するのは、かえって制限をつくることになるのではないか。 使いたい人が使えば良い。要は使う人がモラルを守れば良い。 ○高齢者や視力低下者のための朗読CDに取り組み、新規利用者の獲得につなげて欲しい。 ○郷土資料の充実を図るなど、特色のある図書館づくりを検討して欲しい。
人材バンク (2-1-3)	○小学校4年生が絵写真と名前を載せた人材一覧表をつくっている。
家庭教育 (2-1-5)	○家庭内のあいさつを推進して欲しい。
地域学習 (2-1-6)	○子育て塾に力を入れて欲しい。地域で子どもを育てる体制づくりを進めるべき。高齢者 と子どもが触れ合う「穴ぐら塾」などを。茅野市では補助金を出すらしい。以前に菖蒲沢 区でも実施した経過がある。「史跡めぐりウォークラリー」を開催し、子どもたちが郷土史 跡を歩く機会を。アサヒビールやキリンビールなどの財団の助成もあるので、調べて活用 を。
中学校プール (2-2-1)	○プールの要否から討論すべきではないか。 ○中学生議会でも改修の要望が出ているので取り組む必要はあるが、中学生のモラルも必 要。 ○必要最低限の改修でも良いのではないか。
阿久収蔵庫 (2-3-2)	○文化財系の事務所を収蔵庫の隣に移せば常時公開が可能となる。
公園や広場の 利用促進 (2-4-2)	○深山公園の利用方法（誰でも自由に遊ぶことができるが、利用する場合には中新田区に 申し込む）について広報し、利用の促進につなげるようにしてはどうか。
地域交流 (2-5-1)	○交流先を検討する際は、自治体の規模にかかわらず対等な立場で交流できるところを検 討すべき。群馬県の川場村は世田谷区と交流しているが、双方にメリット がある。 ○都市部との交流は、婚活事業にも大きな利点がある。 ○スポーツや文化などを含めて幅広いメニューで交流できる方が良い。
男女協働参画 (2-6-1)	○女団連があるのに男団連はないことが、かえって違和感を感じている。男女共同参画に おいて男性の教育や参画が必要なのではないか。 ○農業委員会に女性委員が誕生したことにより、女性委員はいろいろな所に参加しなけれ ばならず、その活動が主になってしまった例がある。

